

令和7年度南房総市保健事業の報告 および 令和8年度南房総市保健事業の取り組みについて

【成人・高齢者保健事業】

※参照資料「令和7年度南房総市保健事業」

1 総合検診

- 実施日：令和7年8月20日から9月27日、11月4日の20日間（P32）
 - ・8月から9月に健診を受けそびれた人への再度の受診機会の提供として、今年初めて11月に『秋けんしん』として実施。受診者数は予定人数40人を上回る62人であった。
 - 令和8年度：昨年度同様『秋けんしん』を実施予定。
- アンケート結果（P34）
 - ・質問「受診しようと思ったきっかけは何ですか」（複数回答可）
 - 回答「水色の封筒（健診案内）で案内が届いたから」56%
 - 「毎年受けているから」55%
 - 令和8年度：通知対象者を拡大。75歳から85歳までの後期高齢者全員に健診案内を送付した。

2 がん患者医療用補整具購入費等助成事業（がん患者QOL向上事業）（P38）

- 外見の変化を伴うがんを治療中の方、または受けていた方の、ウィッグや補整具などの購入（レンタル）費用の一部を助成した。
 - 令和7年度実績：医療用ウィッグ 13件、胸部補整具 1件、エピテーゼ 0件
- 【エピテーゼ】がんの治療に伴い欠損した部位を補うために体表に取り付けられる人工物（乳房、乳頭、鼻、耳等）をいう。
- 令和8年度：がん患者の経済的・心理的負担の軽減、療養生活の質の向上を図るため継続実施。

3 生活習慣病予防教室（P43）・骨と筋力づくり教室（P45）

- 生活習慣病予防教室：健診の結果、血糖値が高く経過観察や要治療の人が多いため、糖尿病について、医師による講話、管理栄養士や理学療法士による食事や運動に関する講話や実技を行った。
 - 骨と筋力づくり教室：骨粗しょう症検診後に、骨粗しょう症やロコモ（※）について理解を深めもらうために実施した。医師による講話、管理栄養士によるレシピの紹介などを行った。
- 【ロコモ】ロコモティブシンドロームの略。運動器（骨、関節、筋肉など）の障害により移動機能（立つ、歩くなど）が低下した状態。進行すると要介護リスクが高くなる。
- 令和8年度：健康について総合的に学べるように2つの教室を統合し、「げんきなからだづくり教室」（全8回）として実施している。

回	時期	主な内容
1	6月	南房総市の健康問題、食事のバランス など
2	7月	口腔と健康
3	9月	減塩予防の食事
4	10月	脂質異常症の予防について
5	11月	骨折・フレイル予防について
6	12月	糖尿病の予防について
7	1月	生活習慣病予防～食事編～
8	2月	生活習慣病予防～運動編～

4 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（P 5 0）

- 低栄養のリスクがある人や健康状態不明の人などに対し個別指導を実施した。健診の受診や介護保険の申請などにつながった。
- 老人クラブや集いの場、その他地域の小集団で健康教育や健康相談を実施した。
- 令和8年度：口腔機能が低下している人や服薬状況の確認が必要な人などへの個別指導を拡充する。各集団への健康教育や健康相談は継続実施。

5 健康ポイント事業（P 5 8）

- 令和7年度：新規参加者80人、100ポイント達成者32人。
- インターネットで登録などを行えるようにしたが、参加者にとっては入力が難しいなどの点があった。
- 令和8年度：電子に加え紙での申請も可能とするため、「みなたん健康ポイント事業」用紙を作成。参加者の増加及び健康的な取り組みの実効性を高めるため、高齢者サロンなどで健康教育を行う際、参加者に配付して、事業概要や用紙の活用方法などを説明している。

6 带状疱疹予防接種費用助成事業（P 1 1 7）

- 50歳以上の人で定期接種対象者やこれまでに助成を受けた人以外を対象に、带状疱疹予防接種費用を一部助成した。
- 令和7年度実績：申請者208人
- 身近に带状疱疹に罹患した人がいて症状が辛そうだったからなどの理由から任意の予防接種を行った人が多かった。
- 令和8年度：継続実施。引き続き定期接種と併せて周知している。

